

山口大学

経済学部 観光政策学科

経済や社会問題に精通した観光リーダーを養成

自ら立案・実践する機会もある

2000年代初頭、日本政府は「観光立国」を掲げて、豊かな自然や文化を活かした観光政策に力を入れるようになった。「これを受けて、各地の大学で観光系の学部・学科が生まれましたが、経済学や経営学を踏まえた分野は手薄でした。そこで、本学では2005年、経済学部観光政策学科を設立したのです。当時、国立大学に観光系の学科ができること自体が異例でした」と、同学科の朝水宗彦教授は語る。

同学科は12人の教員を擁し、「観光経済分析コース」と「観光コミュニケーションコース」に分かれる。前者は、観光活動が利益を生み出すために何が必要か、質だけでなく量の側面からも把握

し、現実の観光政策やマネジメントに生かすための国際標準の政策立案能力、観光産業企画力を培うのが目的だ。

一方、後者は旅行者と旅行者を受け入れる側を俯瞰しながら、具体的に観光プランを立案できる「観光リーダー」の養成が目的だ。錦帯橋や秋吉台など山口県が誇る観光資源や、日本の文化・歴史を学ぶだけでなく、プロジェクトを立案して観光地で実践する「プロジェクト演習」などもあり、観光リーダーとして必要な能力を養える。

さらに、外国語教育にも注力している。「英語のほか、観光客が際立って多いため中国語・韓国語に重点を置いています。キャンパスに南アジアや東南アジア諸国連合(ASEAN)、中国からの留学生が多いことも刺激になるでしょう」(朝水教授)

観光政策学科の魅力

観光政策学科 准教授

西尾 建 先生

専門は観光マーケティング、スポーツツーリズム。

観光政策学科で担当する講義は、旅行者の行動や自治体・観光業界のマーケティング戦略に焦点を当てた「観光マーケティング」や、観光のサービスや満足度も含めて観光の在り方を探る「ホスピタリティ・マネジメント」などがあります。「観光を科学する」の言葉通り、データ分析による実証的な視点で観光学を捉える学科は、他にあまり見られません。

ジェンダー、テクノロジー、障がい者対応、環境保全などの格差是正について考える持続可能な開発目標(SDGs)の視点も常に意識しています。ポスト・コロナで観光需要も増える中、地域の魅力を模索し、どのように観光の価値を創造するか、一緒に考えていきましょう。

DATA

定員: 50人

学費: 年53万5,800円

奨学金: あり(日本学生支援機構、山口大による授業料全額または半額免除など)

住所: 〒753-8540
山口県山口市吉田1677-1

TEL: 083-933-5500

FAX: 083-933-5514

E-Mail: sh011@yamaguchi-u.ac.jp
(取材・報道窓口)

URL: <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

